

事業所名

多機能型事業所 ふいる (児童発達支援)

支援プログラム

作成日

令和7年

3月

3日

| | | | | | | | | | |
|-----------|-----------------|--|----|-------|---------|-------|--|----|----|
| 法人(事業所)理念 | | どんな障害があっても、好きなもの・事・場所等、沢山の選択肢の中から制約なく選べる社会の実現を目指します。 | | | | | | | |
| 支援方針 | | <ul style="list-style-type: none"> ・自分らしく楽しく、充実した生活を送ることが出来る。 ・やりたいことを諦めない。出来る方法を考え支援する。 | | | | | | | |
| 営業時間 | | 登校日 | 9時 | 0分から | 18時 | 0分まで | 送迎実施の有無 | あり | なし |
| | | 休校日 | 8時 | 30分から | 17時 | 30分まで | | | |
| 支援内容 | | | | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | <ul style="list-style-type: none"> ・日々のバイタルチェック、全身状態や呼吸状態の細やかな観察をしていく。 ・ご家族からの聞き取りから健康状態を把握し、体調の変化に応じて適切なケア、管理を行う。(看護師による医療機器の管理も含む) ・入浴、口腔ケア、衣服の調整等を行い、心身ともにリラックス出来る、環境作りを提供していく。 | | | | | | | |
| | 運動・感覚 | <ul style="list-style-type: none"> ・体調に合わせたストレッチやマッサージの時間を提供していく。 ・遊びを通して楽しく体を動かし、様々な感覚に刺激を与え、様々な経験を積み重ね身体と心の成長・発達を促していく。 ・訓練担当職員と連携を取りながら障がいの特性に合わせた安楽な姿勢で楽しく活動に参加出来るように状態に合わせたポジショニングを行っていく。 | | | | | | | |
| | 認知・行動 | <ul style="list-style-type: none"> ・朝の会や出席カードなど利用時に行うことをルーティン化させていくことでイメージをもたせ、見通しが作れるよう支援していく。 ・年齢や発達に合わせた活動の実施。スモールステップで子どもたちのやる気や達成感をいかにして引き出し、成功体験に繋がるような支援をしていく。 ・物の名称、色、形、大小、数量等活動や遊びの中で取り入れていく。 | | | | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | <ul style="list-style-type: none"> ・個々の特性に合わせて、絵カードやICT機器(スイッチ、視線入力等)を使用し、意思の表出を支援していく。 ・さまざまな表情、動作、発声の仕方などで自分の気持ちを表現出来るようにしていく。また、気持ちを受けとめ共感することで、「伝えたい」「伝わった」という気持ちと達成感を大切に、伝わったという体験を繰り返し体験することで、人と関わる楽しさや喜びを育んでいく。 | | | | | | | |
| | 人間関係 社会性 | <ul style="list-style-type: none"> ・職員やお友達と一緒に活動をしたり、触れ合ったりする中で他者を意識し、人と関わることの楽しさを感じられるよう支援していく。 ・人との関わりや集団遊びの中で、関係性や社会ルールを身につけ、認識していけるよう支援していく。 | | | | | | | |
| 家族支援 | | <ul style="list-style-type: none"> ・ご家族同士が、子育ての喜びや悩みなど思いを共有できる場を作っていく。(年2回家族会開催) ・送迎時や連絡帳等で日常生活や通院において情報共有を図る。 ・送迎や入浴支援を行い、ご家族の負担軽減を図る。また、ご家族の状況に応じて、利用日・利用時間の調整を行う。 | | | 移行支援 | | <ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージの変化に応じて、事業所や保育園、学校等と連携しながら、切れ目のない支援を目指していく。 | | |
| 地域支援・地域連携 | | <ul style="list-style-type: none"> ・行事等を通して地域との交流や関係機関と連携をとり、ご家族の思いに寄り添いながら、地域で安心して過ごせる環境を作っていく。 ・必要に応じて関係機関と連携を図っていく。 ・月1回開催される療育担当者会議への参加。 | | | 職員の質の向上 | | <ul style="list-style-type: none"> ・日々の支援後の振り返りでの改善点、反省点などの話し合いの実施。 ・研修や日々のミーティング、会議の中で情報共有を図りながら認識を高める。また、多職種から出る意見を元に方向性や改善点を話し合う。 ・感染症対策委員会、虐待防止委員会、身体拘束委員会の設置。 ・内部、外部への各種研修会へ参加し、情報共有のための話し合いの場を設ける。 ・火災、地震、不審者訓練の実施。 ・喀痰吸引等研修の受講。 | | |
| 主な行事等 | | <ul style="list-style-type: none"> ・季節ごとの行事(お花見・水遊び・野菜の収穫・秋祭り・芋ほり・ハロウィン・クリスマス会・餅つき・豆まき) ・卒園祝いの会、春夏秋冬を感じることが出来るよう季節を取り入れた活動や制作、運動遊び、音楽。 ※定期的にお誕生日会、避難訓練。 | | | | | | | |